**POCコーディネーター証明書取得方法**

2018年11月1日現在

　わが国におけるPOCコーディネーター育成のための一歩としてPOCTに関する研修会・セミナーを実施し、所定の単位を取得した者には証明書を授与する。POCコーディネーターはPOCTの運営に重要な役割を担う者である。具体的な役割は、POCTガイドライン第3版（日本臨床検査自動化学会会誌 vol.38 Suppl.1）に記している。

　カリキュラムについては、後述してあるが、POCTガイドラインを参照すること。

**１．証明書の取得方法**

1)修了証取得の条件

　以下の2つの条件を満たす者

1. POC技術委員会が認めた研修会・セミナーに参加し**12単位以上**を取得した者。かつ、**カリキュラムに示した４区分それぞれについて最低1単位**は取得していること。

　② 修了証取得を申請する際、日本臨床検査自動化学会もしくは日本臨床衛生査技師会に所属していること。職種は限定しない。

2)修了証取得のための申請方法

　 ① 以下の書類を添えて日本臨床検査自動化学会事務局に郵送する。

・POCコーディネーター研修修了証申請書（最終ページを印刷して使用）

・12単位分の受付番号の記入されたPOCセミナー参加証明書のコピー

・返信用封筒（A4版）→ 証明書送り先を記し切手140円を貼付すること

・申請料振り込み控(あるいはそのコピー)

1. 請手続き後は返金しない。

　 ③ 学会事務局より日本臨床検査自動化学会長名の証明書を郵送する。

1. 申請料　5千円（下記振込先に振り込む）

＊発送は事務運営上、申請されたものを一括して処理するため年2回とする。発行月は2月、8月でそれぞれ１月31日、7月31日を締め切りとし、それまでに受け付けたものに対して発行するものとする。

＊申請料の返金はしておりません。

**証明書交付の申請料振込み先**

**申請料振込み先**

三菱東京UFJ銀行　本郷支店

店番351　普通預金0156850

名 義：学術用　一般社団法人日本臨床検査自動化学会

カナ名義：ガクジユツヨウ　シヤダンホウジン　ニホンリンシヨウケンサジドウカガツカイ

**２．更新**

1)有効期限

　　 修了証発行日から満5年間とする。

2)更新の条件

**6単位以上**の単位取得と会員の要件に加えて**更新セミナーを最低1回受講**している

こと。

3)更新の申請方法

　　 取得時と同様。更新料は5千円。

**３．単位取得可能なセミナーの開催**

・日本臨床検査自動化学会大会時のセミナー（秋）

・全国学会および学会地方会

・各地区の研修会などでのセミナー（POC技術委員会が認定したもの）

・日本臨床検査自動化学会と企業との協力セミナー

**４．セミナー参加時に受講者が注意すること**

1）セミナーは原則事前申込み制で、セミナー毎に申込み先、期日等は告示する。

2）セミナー当日は受付で事前申し込み者に参加証引換券を手渡し、セミナー終了時に参加証と引き換える。単位制のセミナーのため受講時間を厳密に管理する。

3）セミナー開始15分を経過した後に参加した者には参加証引換券は発行しない。ただし、セミナーへの参加は可能。また、セミナー終了前に退室した方には参加証は発行しない。すなわち遅刻、早退者には参加証は発行しないのでご注意頂きたい。

4）参加証の引き換えはセミナー終了時のみで、原則、後日再発行は行わない。

5）当日申し込み者の扱い

イ）申し込み終了時、定員に満たない場合には不足人数のみ当日申し込みを受　　　　付ける。講義のみのセミナーの場合には会場が許す範囲まで申し込みを受け付けるが、実習を含むセミナーの場合には試薬・機器等の準備があるため、定員を厳守する。

ロ）当日申し込みの方は当日申込み用紙を記入すること。

6）参加費は主催者・協力者が必要に応じて任意に設定するので事前情報で確認すること。

**５．セミナーの公告**

**日本臨床検査自動化学会のホームページで公告します**

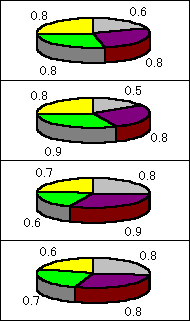
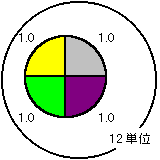
**http://www.jscla.com/**

**JSCLA・POCコーディネーター証明書発行までのカリキュラム**

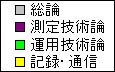
　日本臨床検査自動化学会・POC技術委員会が行うPOCコーディネーター証明書の発行のためのカリキュラムである。POCコーディネーターに必要な基礎知識を4大区分しそれぞれに所定の単位を与える。セミナーでは原則として1時間を1単位とする。

　資格申請のためには12単位以上（総論研修1単位以上、測定技術論研修1単位以上、運用技術論研修1単位以上、記録・通信研修1単位以上の合計12単位以上）の修得が必要である。

　米国AACC例を参考としているが、4区分制度は準じるものの、セミナーの頻度やプログラム構成法の点ではJSCLA独自のものとする。



セミナー毎の単位配分例



資格申請に必要な単位数

且つ、４大区分から１単位以上

* かつ総単位数12単位以上

**POCコーディネーター研修・セミナーカリキュラム内容の区分**

|  |
| --- |
|  |

区分　　　　　内容　　　　　　　　　　　　　　 POCTガイドラインの章

|  |
| --- |
|  |

１．総論 　 POCTの定義、機能、POCT運営委員会　 1, 2, 3, 9,10, 12, 13,

　 　　 　　（設立と運営）、教育・啓発、経済性等 14, 15, 16

２．測定　　測定原理、再現性、直線性、干渉物質　 4, 5

　　技術論　の理解、取扱説明書の読み方等

３．運用 　サンプリング、データ保証、精度管理、 11,17 付1-2,付2

　　技術論　基準値・異常値、保守点検、在庫管理等 付3

４．記録　　導入、システム構築、データ記録等 6, 7, 8, 付1-1

　　通信

|  |
| --- |
|  |

１．総論

`POCTの存在意義とそれを高めるための知識を習得する。POCコーディネータ**ー**自身はもとより、医療関係者や患者に対する教育についても重点をおく。この中には、POCT運営委員会などの組織構築法や経済性の検討なども含まれる。

２．測定技術論

基本的な分析原理、特にPOCTで多用されるイムノクロマト法や電極法などを、実習を含めて知識を習得する。なお、全てのPOCTの実体験は出来ないので、各種取扱説明書を熟読し理解に努め、実地に活かせるようにする。

３．運用技術論

　 POCT装置を誤りなく、かつ効率的に働かせるための手技や付帯用具等について知識を習得する。また、データ保証の方法や結果判定法、ならびにPOCT装置の保守点検については、実習を含めて知識を習得する。

４．記録・通信

主にシステム論・記録法・通信技術を学び、現在のPOCT装置や運用で最も遅れているシステム化について、将来の構築法を検討する。なお、記録を用いての POCT効果の説明は１．総論に含むものとする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（西暦）　 　　年　　　月　　日

一般社団法人日本臨床検査自動化学会事務局　御中

POCコーディネータ**ー**証明書申請書

　 　　□初回申請　　　□更新申請（前回登録番号　　　　　　　　　）

　このたび貴会が認定されたPOCTに関する研修会・セミナーに参加し規定の単位  
（新規12単位、更新6単位+更新セミナー）を取得しましたので、POCコーディネーター証明書の交付を申請致します。

　（ふりがな）

　　氏名 　　 印　　　生年月日(西暦) 　　年　 　月　 　日

□臨床検査技師　□医師　□薬剤師　□企業関係　□その他（　　 　　）

　会員番号（いずれかの会員であればよい）

　　一般社団法人日本臨床検査自動化学会：

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会：

所属：

住所：〒

電話：

確認事項（以下の確認事項に✔を記載してください）

* 旧姓確認：学会登録や初回POC登録時とは姓が異なる場合は旧性を記載して下さい。

□旧姓：　　　　　　　　　□変更なし

* POCコーディネーター啓発のため氏名、所属を学会誌面やホームページにて公開します。公開してよろしいですか。　□可　　　□　不可
* POCコーディネーターの交流を図るためメーリングリストがあります。このメンバーとして登録してよろしいですか。

□可　　メールアドレス 　 @ 　□　不可

□ 下記の書類を同封頂いたかチェックお願いします

□申請書（本用紙）

□規定単位分の受付番号の記入されたPOCセミナー参加証明書  
（あるいはそのコピー）

※カリキュラムに示した4区分それぞれについて最低1単位取得していることを確認のこと

□申請料振り込み控え(あるいはそのコピー)

□返信用封筒（A4版）→ □送り先を記入（所属先でも自宅等でも可）

□切手（140円）の貼付

　以下、確認のためご記入ください。

　□初回申請者　※**12単位以上**かつ、**区分それぞれについて最低1単位**

総　　　論　　　　単位

測定技術論　　　　単位

運用技術論　　　　単位

記録・通信　　　　単位

合　　　計　　　　　単位

□更新申請者　※**6単位以上**かつ**、更新セミナーを最低1回受講**

総　　　論　　　　単位

測定技術論　　　　単位

運用技術論　　　　単位

記録・通信　　　　単位

合　　　計　　　　　単位

更新セミナー 有 ・ 無

**証明書交付の申請先** ※封筒に貼り付けてご利用ください

　　〒113-0033

東京都文京区本郷4-2-5　MAビル6F

　　　　日本臨床検査自動化学会事務局内

POCコーディネータ**ー**証明書発行担当者　御中